

2026年度 大学院入学試験問題【I期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目 【英語教育学研究領域】

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。

(例 I-(1)、II-(2))

I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 近年、学校教育における英語授業ではペアやグループでの活動が増えている。なぜ、そのような活動が重要なのかを第二言語習得の観点から説明するとともに、協働的な学習環境を作るために教師ができることを具体的な例を挙げながら論述しなさい。
- (2) Dörnyei の L2 Motivational Self System (L2MSS) と Deci and Ryan による Self-Determination Theory (SDT) を比較し、それぞれの強みと限界を明らかにした上で、第二言語の学習や指導における有用性について論述しなさい。

II. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) Willingness to Communicate (WTC)
- (2) タスクに基づいた言語指導 (TBLT)
- (3) 偶発的学習と意図的学習
- (4) 目的・場面・状況